

あき北支所管内より



### ココだワン! ここちゃん(8ヶ月) 飼い主: 山本 靖さん

山本家7代目になるパワー全開で人懐っこいここちゃん。人が大好きで、初めて会った人にも「私を見て! ココだワン!」と言わんばかりに飛びついてじゃれ合います。ここちゃんは、家族皆を笑顔にするのが大の得意で、犬のぬいぐるみボブや枕とプロレスをしてみたり、靖さんたちがお花に水をかけているとホースで綱引きを始めたり、ホースの水をがぶ飲みしたりして皆を笑顔いっぱいにします。撮影中も、ご近所の方が通りかかると真っ先に尻尾を振って挨拶に行ったり、本物の鹿の角を咥えて遊んでみたり、空っぽの鉢の中に顔を突っ込んだりしてチャームングな姿をたくさん見せてくれました。その人懐っこさからすっかり山本家のアイドル犬です。これからも山本家を笑顔いっぱいにしたいここちゃんなのでした。

### じい〜とアスパラが大好き♡

- (左から)小松 風花ちゃん(11)  
小松 清大くん(9)  
小松 愛芽ちゃん(7)  
有澤 優歌ちゃん(7)  
有澤 天河くん(11)  
小松 仁瑚ちゃん(9)

祖父・政朋さんのアスパラを栽培しているハウスに、ワイワイと集まってくれた6人の愉快なお孫さん達。3世代の家族は、週末になると安田町へ集合します。政朋さんの事が大好きなお孫さん達は自分から収穫や袋詰めなど、ハウスのお手伝いしてくれるしっかり者です。好きな食べ物は「アスパラ!」と元気に答えてくれました。いずれはアスパラ農家を継いでくれるのかなと政朋さんは楽しみにしています。天気の良い日は、外で大縄跳びをしたり、じい〜に買ってもらったお気に入りの自転車に乗って皆で仲良く遊びます。「孫に会えるのが一番の生きがい。これからも元気に育て、ずっと仲良くいてほしい」と祖父・政朋さんは孫の成長を見守っています。

安田支所管内より



安田地区

## から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

羽根支所管内より



### たれ作りが私たちの交流の場 尾崎 真喜恵さん(63) 安岡 繁美さん(65)

羽根園芸女性部の部員、尾崎真喜恵さんと安岡繁美さん達が作っている焼肉のたれ。なんと約30年以上前から女性部で語り継がれてきたレシピを使って、ニンニクの収穫時期に合わせて5月〜6月頃の年に1回作っています。「同じレシピで作ったが、同じ味にならなかった」という他地区の声があるほど材料にこだわっているようで、ほとんどが部員さん達の持ち寄り、羽根町や奈半利町の地元で作られたニンニクや手作りのみそなどを使っているそうです。焼肉のたれは、家族や友達に分けたりして楽しんでいるそうで部員の真喜恵さんと繁美さんは「コロナ禍で人と会えない中、焼肉のたれ作りを通して普段会えない人との繋がりができることが何よりも嬉しい」と頬を緩ませ話してくれました。今後も無理のないように作り続けていって欲しいです。



焼肉のたれ

北川支所管内より



### 憧れのスローライフ 大西 達人さん(41)

父・一司さん、妻・由紀さんと3人でユズ6アールとオクラ1アールを栽培する達人さん。以前は香川県でサラリーマンとして働いていましたが、自分の思う仕事ができず悩みの多い日々でした。仕事を辞めて何をしようか模索中に、ふと父・一司さんが兼業農家として栽培していたユズをしようと思いついたのがきっかけで故郷の北川村で就農し、今年で3作目を迎えます。「ユズの収穫から剪定が終わるまでは忙しいが、それ以外は自由に時間を組む事ができるので、憧れだったスローライフを満喫中」と近くの西谷川に泳ぎに行ったり、趣味の音楽のロックを聴きながら作業をすることもあるそうです。去年の春から加工用に加えて青果にも挑戦したり、波板を使った独特の栽培方法で自然薯を作ってみたりと「自分達のペースで楽しみながら色々なことに挑戦していきたい」と前向きに話す達人さんの今後の活躍が楽しみです。

# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 地区本部 手軽に贈れる ギフトアレンジ作り



上田さん⑤奥からアレンジを教わり喜ぶ女性部員

安芸支部園芸女性部は4月14日、安芸集出荷場で高知市の「花舎」の上田智子さんを講師に招き、女性部員15人が、フラワーアレンジメント作りに挑戦しました。部員らは、バラや、ピンクスターなどの花の他、藁や薄葉紙の装飾も使い、自分好みに華やかにアレンジしました。その他、ダリアやピュアブルーの花は芸西花生産者の協力もあり提供されました。女性部員は「お世話になっている近所の夫婦にプレゼントしたい」と話しました。

## 3 芸西支所 イギリス王室へ ブルースター贈呈



イギリス王室から届いた手紙と贈ったブルースターの花

遡ること4年前の2018年4月、芸西支部園芸部研究会花卉部ブルースター部会などがイギリス王室のエリザベス女王に生産者の佐藤康史さんが作った「ブルースター」を誕生日のお祝いとPRを兼ねて贈呈しました。1カ月後にエリザベス女王から届いた手紙について芸西集出荷場の上田課長は、「女王から手紙が来るとは思ってもいなかったので驚いた」と、笑顔で振り返りました。

## 6 あき支所 交通安全活動・ 市民に呼びかけ



市民に交通安全を呼び掛ける清遠支部長⑤

女性部安芸支部は4月6日、安芸市内で交通安全活動を行いました。部員らはチラシとエコバックを手渡ししながら、「安全運転に気を付けてください」「夕暮れ時は早めの点灯を心掛けてください」と市民約100人に安全運転を呼び掛けました。清遠みか支部長は「この活動を通して少しでも交通安全に対する意識を変えてくれる人が増え、死亡事故が少なくなっていく」と話しました。

## 4 吉良川支所 青壮年部が 児童と手植えで交流



児童と一緒に田植えを教える宇賀支部長⑤

青壮年部吉良川支部は4月12日、室戸市立吉良川小学校の5年生の児童16人と吉良川第一保育所の園児7名で田植えに挑戦しました。吉良川公民館が世代間交流として開き、今回で17年目。同宇賀康雄支部長が、木枠を使った昔ながらの苗の植え方を説明すると、児童らは裸足で田んぼに入り、皆で声を掛け合いながら苗を植えました。宇賀支部長は「今後も地域のつながりとして協力していきたい」と話しました。



収穫を迎える事ができて喜ぶ松本さん

## 1 中山事務所 安田町中山でシャクヤク最盛期 蕾大ぶりで品質上々

安田町中山地区で、シャクヤクの収穫が最盛期を迎えています。JA高知県安芸地区花卉部中山支部では、例年並みの4月上旬から収穫を始めました。今年は雨が少なく影響で背丈は短いが、蕾は大ぶりで品質は上々でした。同支部では7人が約110アールで、「さつき」「ルーズベルト」「ラテンドル」など約10品種を栽培しており、出荷から1週間後に満開となるように花を見極め、蕾の状態で収穫します。収穫は4月下旬まで続き、例年同様、約5万5000本の出荷を見込んでいます。本秀子さんは、「草引きなどの管理は大変だが、それを乗り越えて蕾が咲き始めるのを見ると、大変だった事も忘れられるほど嬉しい」と笑顔で話しました。中芸営農センター中山事務所の小松知喜所長は「去年からコロナの影響は受けず持ち直している。シャクヤクは季節もののため需要があり、JA高知県から関西や関東にも出荷しており、市場の反響も良い」と話しました。



「なすのたたき」を薦める「なすっこ組」メンバー⑤

## 2 地区本部 「なすぶうの餃子」大好評

朝から来て買って嬉しい「お酒のつまみにぴったり」と喜んでいました。なすっこ組代表の清遠みかさんは、「コロナ禍ではあるが今年も来てくれる人がいて好評で嬉しい。もっと多くの人に食べてもらいたい」と話しました。同イベントは、手びねり体験や絵付体験など、安芸市伝統の陶芸文化に触れることができる。ご当地グルメも数多く出店し、希望すると内原野焼きの器に盛り付けて提供されます。

# えいのう



## 栽培終了時の注意点

### 施設園芸



安芸営農経済センター  
営農指導課  
芸東ブロック  
池知 雅貴

**栽培期間も終盤となりまし**  
た。栽培終了と同時に次作への準備期間となります。良いスタートがけられるようしっかりと土壌環境を整えましょう。

#### 【作物残さ処理】

青枯病、ナスフザリウム立枯病、ピーマン立枯病、センチュウ被害株、疫病が発生した圃場では、罹病株を圃場外へ持ち出し残さ処理材の利用を行い、菌密度の低下を図ります。圃場外へ持ち出す際には焼却場の利用など、残さをそのまま放置せず適切に処理します。

#### 【栽培終了時の蒸し込み処理】

コナジラミ類や黄化えそ病を伝搬するアザミウマ類のハウス外への飛散を防ぐため、収穫の終わったハウスは引き上げ前（株を抜き取る前・たたき込み前）の晴天時にハウスを密閉して蒸し込みを行います。

#### 【土壌消毒】

青枯病、モザイク病、ナスフザリウム立枯病、ピーマン立枯病、センチュウ発生圃場は次作に持ち越さないように特に土壌消毒を徹底します。

#### 【土づくり】

土づくりとはチッソやリン酸などの養分の補給だけでなく、輪作・有機物の施用・深耕・排水などといった複合的な対策を行い、作物の根をとりまく環境を改善することです。

有機物施用による効果には、養分の供給や土の物理性の改善の他に、養分の保持、緩衝能の増大などがあります。特にハウス土壌では有機物の消費が激しい為有機物を定期的に補給する必要があります。堆肥類においては堆積期間中にコガネムシ類の幼虫が寄生している場合や未分解有機物の心配があるので、堆肥を投入するときには灌水前または土壌消毒前に施用してください。

稲ワラやケントップ、バーク堆肥は土壌の物理性の改善効果が高く、家畜ふん堆肥は肥料的效果が高いです。目的に合った有機物資材を使用し、施用する際には土壌分析を行い、投入量を検討しましょう。

## 梅雨時期の管理

### カンキツ

この時期は急激な病害虫の増加に注意しましょう。

#### 【生理落果】

旧葉の落葉が多く、新葉の比率が高くなっている園地などでは、開花結実期に旧葉からの養分の供給が不足し、新葉と花との養分の競合が起こりやすくなる為、生理落果を助長すると考えられます。また、気温や日照が影響し、生理落果期に25℃以上の気温の日や曇天が続くと生理落果が増加します。特に生理落果期に平均気温より2℃高くなると落果率が高くなる傾向ですので注意して下さい。

#### 【病害虫防除】

黒点病はカンキツ病害の中で最も多く発生し、被害の大きい病害です。被害果は病菌密度で症状が異なり、黒点型、涙斑型、泥塊型となります。防除対策としては生育期を通して枯れ枝を除去すること、適期に薬剤散布する事が重要です。ジマンダイセン水和剤を使用する場合の防除時期は梅雨入り前に1回、その後は200〜250ミリの降雨後毎に散布します。梅雨明け以降も後期感染防



（黒点病・葉と果実の被害）  
高知果病害虫防除所より画像引用



安芸営農経済センター  
営農指導課  
山影 学

# 花きの認証について

振興センターだより

安芸農業振興センター 08871340138

## 花きの認証

野菜などでは有機JAS(有機栽培)や、JA高知独自のエコシステム栽培(できるだけ農薬を使わず、環境に配慮して栽培)などの認証がありますが、花き類にも認証があります。その主な認証について紹介します。

### 花き日持ち品質管理認証

Relay Freshness

花きの消費拡大を目的に制定された認証です。花きでは、食品の賞味期限と同様、鑑賞に適した期間(日持ち)に限りがあり、その日持ち向上が消費拡大につながります。生産者から流通業者、小売店を経て、消費者に届けられる各段階で、適切な管理がなされ、品質が受け継がれることをリレーに例えてこの認証名となっています。

生産者部門、流通部門、小売部門の3つの部門で、それぞれ日持ち向上対策がされている個人、団体が認証を取得できます。部門ごとに認証要件が異なり、生産者部門では、採花から出荷

までの時間や温度管理、ほ場や選花場、ハサミやバケツなどの衛生管理、水揚げや品質保持剤の使用などの前処理の実

施など20項目が要件となっています。高知県内では芸西村のダリア部会、ブルースター部会、トルコギキョウ生産者をはじめ県立農業大学校、ユリの生産者などがこの認証を取得しており、徐々に消費者に認知されてきています。

目的に合った有機物資材を使用し、施用する際には土壌分析を行い、投入量を検討しましょう。

#### ロゴマーク



生産者部門



流通部門



小売部門

## MPS

### Millieu Programme Sierteets (花き産産総合認証)

花き産産全体の、生産・流通現場における環境への負荷軽減、鮮度・品質管理および、企業としての社会的責任を要件とした総合的な認証です。もともとは花き市場の世界的な中心地であるオランダから始まった世界的な認証です。世界の花き産産が持続的に発展していくため、社会・環境に対して責任ある形での生産・流通がなされることを目的としています。

MPSは生産者の認証、市場業者の認証、流通業者の認証の3つに区分されていて、生産者の認証は表のとおり4つの(環境、品質、社会的責任、生産工程管理)認証で構成されています。国内での認証取得はまだ50件あまりで、まずはMPS-ABC環境認証取得が一般的です。この認証取得には5つの環境負荷要素(農薬、肥料、電力重油などのエネルギー、水の使用状況および廃棄物の分別状況)の記録、提出が必要になります。

## 山田 美保江

MPS認証を受けた花きは、国内では、こだわりのある生産物を扱うコープ(生協)やイオングループで差別化して販売される動きがあります。また環境への意識の高いヨーロッパ方面へ輸出する場合、MPS認証が求められるようになってきています。

#### 表 生産者の認証

MPS-ABC 環境認証	生産過程の農薬・肥料・エネルギー等の環境負荷低減への取り組みを認証
MPS-Q 品質認証	鮮度保障・品質管理などを認証
MPS-SQ 社会的責任認証	従業員の雇用管理や社会責任を認証
MPS-GAP 生産工程管理認証	グローバルGAP(GLOBALG.A.P)に相当する花きの生産工程管理を認証

#### ロゴマーク



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

山菜のおいしい季節ですね。山の恵みに感謝です。

(安田支所・56歳)

▼山や野に自生するユキノシタやナスナなどの救荒植物をご存じですか？ 災害や飢饉などで食糧物が不足した時にしのぐための食料に使われる植物があるそうです。よく知られている山菜以外にも挑戦してみてもいいかもしれませんね。

おすすめのナス料理♪

フライパンに縦にスライスしたナスを花びら状に並べ、ケチャップを適量伸ばし、とろけるチーズをまぶして蓋をしてトロトロになれば完成！ ナスは色々出来て美味しいです。

(安田支所・68歳)

▼とっても美味しそうなナスレシピがありますがとうござります。早速お家で作ってみようと思います♪ ナスはアレンジが出来る所が魅力ですね。

うちんくの台所のレシピを見て自分でシフォンケーキを作ってみたくて作りましたが駄目でした。

(あき支所・64歳)

▼お菓子作りは失敗の連続です。先日取材で聞いたお話ですが、最近炊飯器1つで簡単にシフォンケーキが作れるそうです！ これから簡単に手軽に出来る料理もご紹介していきたいです。

地元、安芸市に安芸市担い手支援協議会があることを初めて知りました。各方面の方々が集まり、支援の体制があるということに心強いです。応援しています！

(あき北支所・63歳)

▼関係機関の熱い想いが支援に繋がっていると本当にたくましいですね。今後も就農支援を活用して新規就農者が安芸地区に増える事を願っています。全力で応援しましょう！

コロナ禍の今、やはり花が目前にあると心が和みますし、綺麗な花、可愛い花があると自然に笑顔になります。花を長持ちさせる方法や花瓶選びなどためになりました。

(あき支所・62歳)

▼花は見て美しくきれいなだけではなく、心が和んだり香りに癒されたりと不思議な魅力がありますね。おうち時間が増えた今、「高知の花」で落ち込んだ気分を吹き飛ばしましょう。

## 広報のつぶやき

この春から安芸地区の広報担当になりました恒石明乙羽です。

まだまだ色々と模索中ではありますが、少しでも見ている方に元気の魅力を発信していきたいと思えますので、よろしくお願致します！

高知県は、美味しいお米、みずみずしい野菜、甘い果物、美しいお花が沢山ある事に県民の一人として誇りを感じています。今後は、安芸地区ならではの旬の農畜産物などをご紹介できればと思っております。広報の取材を通してどんな出会いが待っているのかとても楽しみです！

(恒石)

## 令和4年度新採職員のご紹介！

4月から新たな仲間が加わりました。どうぞ、よろしくお願いします！



安芸営農経済センター あき北支所

うちかわ あすか  
内川 飛鳥

- ①読書、かぎ編み
- ②契約社員として4年働かせて頂いたあき北支所に、引き続き配属になりました。今まで以上に一層努力して参ります。よろしくお願いします！



田野支所 信用共済課

ひろた ゆうせい  
弘田 裕聖

- ①剣道
- ②1日でも早く皆様のお役に立てる職員になれるよう頑張ります。これからよろしくお願いします！

- ① 趣味・特技
  - ② 一言
- よろしく  
お願いします!!



税務相談日 令和4年6月15日(水)

会 場 あき支所3階

時 間 10:00 ~ 16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515